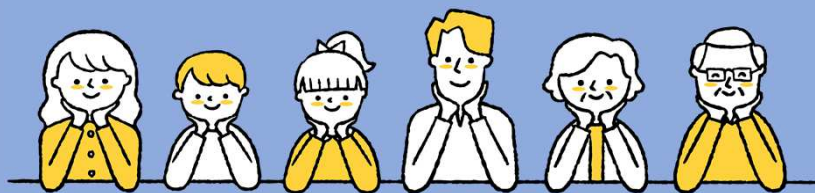


東部振興構想 2022～2031年度



人がつながり、支え合い、チャレンジし続けるまち
～豊かな自然、快適な住環境と多様な産業が共存するまちづくり～

【概要版】

キミと一緒に、育っていきたい。
Komaki

東部振興構想って何？



東部振興構想は、東部地域のまちづくりの指針です。

東部地域は、市内の他地域に比べ、人口減少、少子高齢化が急速に進行しており、今、たくさんの課題を抱えています。

そんな課題を希望に変えるための指針として「東部振興構想」は策定されました。

また、今後の東部地域のまちづくりは、地域住民をはじめ、企業・事業者、行政など関係する人たちが連携・協力してまちづくりを進めることが大切です。

東部地域に関係する人たちが共通認識をもって、夢や希望に向かってまちづくりを進めるための役割も、この「東部振興構想」は担っています。

あなたは、
東部地域、
好きですか？



みんなで協力して取り組む
東部地域のまちづくりに
参加してみませんか。

多くの人の声を反映！？



今後の東部地域のまちづくりは、地域住民をはじめ、企業・事業者、行政など様々な主体が連携・協力していくことが、最も大切です。

そのため、多くの人たちの声が、東部振興構想には反映されています。

東部まちづくりワークショップ

地域住民、事業者、各種団体など多くの人たちに参加いただき、計3回のプログラムで、まちづくりのアイデアを創出しました。

東部まちづくり戦略会議

令和元年度から令和2年度にかけ、市長、学識経験者、地元住民の代表の委員構成で、東部地域のまちづくりに必要な考え方などを議論しました。

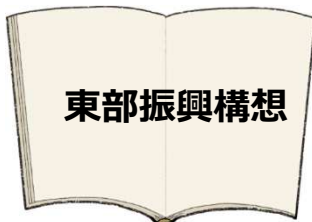
中学生まちづくり スクールミーティング

令和元年度に東部地域の3中学校（篠岡、光ヶ丘、桃陵中学校）の代表生徒が東部地域のまちづくりのアイデアを創出しました。

パブリックコメント

令和4年1月17日～2月15日に構想(案)に対する意見を募集。頂いた意見を構想に反映するとともに意見のあらましと市の考え方を公表しました。

東部振興構想



東部まちづくり審議会

学識経験者、市の区域内の公共的団体に属する者、東部地域の区域内の住民の代表者、公募委員で構成する東部まちづくり審議会、専門的な目線、住民目線と様々な角度から東部地域のまちづくりの方向性について議論しました。

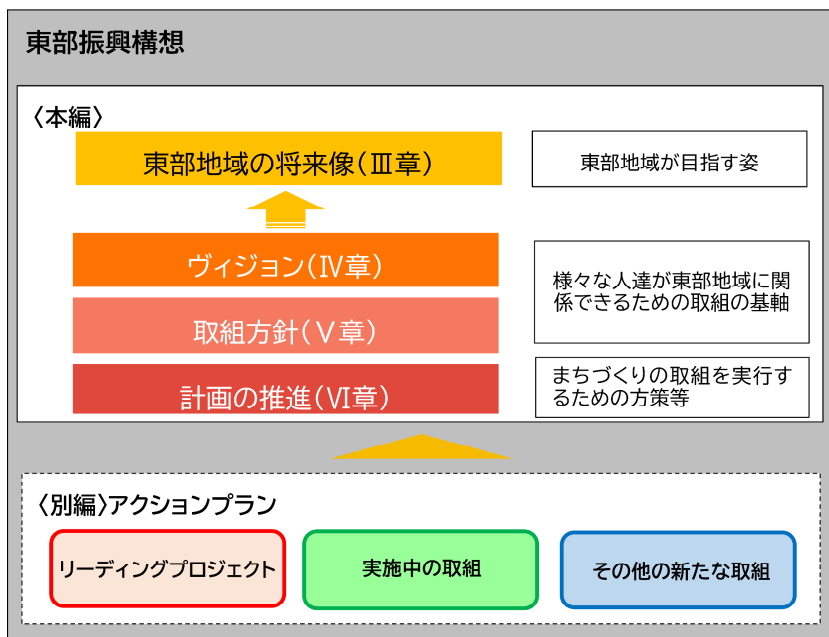
計画の構成や期間



構成

東部振興構想で定める「東部地域の将来像」や「ヴィジョン」の実現のため、具体的な取組を示す「アクションプラン」を別に定め、まちづくりを進めます。

アクションプランは、東部地域のまちづくりを先導的に進める「リーディングプロジェクト」、既に取り組んでいる「実施中の取組」、その他の新たに実施するプロジェクトである「その他の新たな取組」の3つのカテゴリーで構成し、毎年見直ししながら、その後3カ年の取組をまとめていくことで、実効性を高めます。

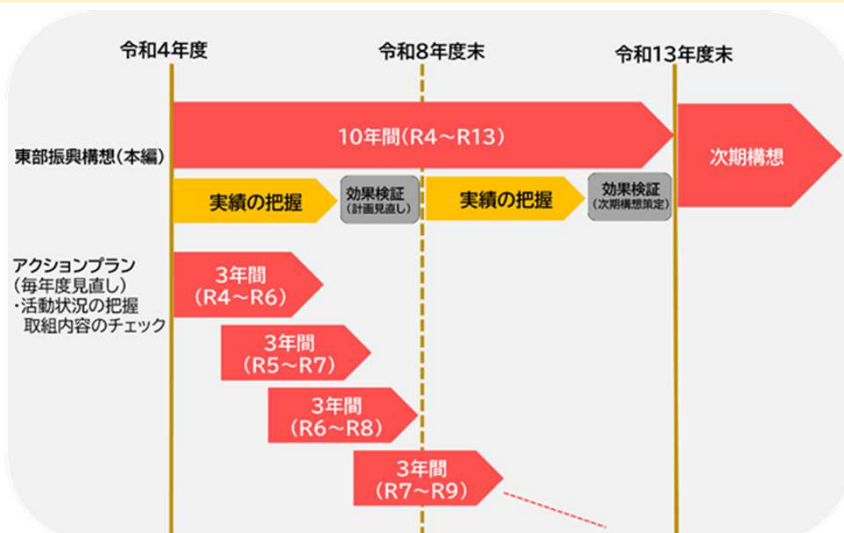


期間

2022年度(令和4年度)から2031年度(令和13年度)の10年間

- KPI(重要業績評価指標)を設定し、まちの状態を5年ごとに検証します。

KPI(重要業績評価指標)	基準値 (基準年)	目標値 (令和8年)	目標値 (令和13年)	測定方法
東部地域の生産年齢人口割合 ※15歳～64歳	63.4% (H27)	54.0%	50.7%	国勢調査データを基に算出します。



まちづくり5原則（基本的な考え方）



東部地域のまちづくりを進めるうえで、根底となる考え方を5原則で表したものです。この5原則を意識し、まちづくりを進めます。

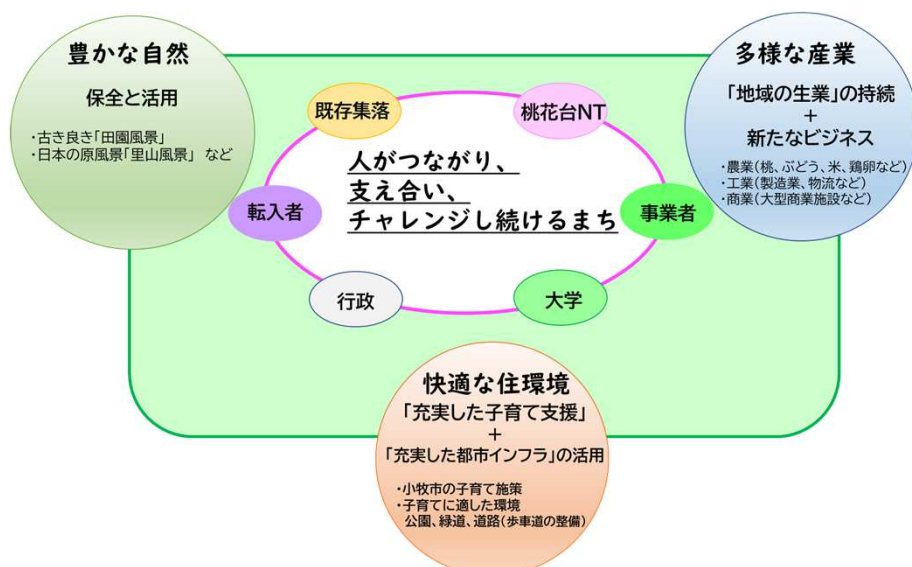
一体性	東部地域一体でのまちづくり
自立性	地域住民による自立したまちづくり
多様性・活用性	多様な地域資源を連携・活用したまちづくり
柔軟性・可変性	柔軟性・可変性を持ったまちづくり
将来性	チャレンジをサポートするまちづくり

東部地域の将来像



人がつながり、支え合い、チャレンジし続けるまち
～豊かな自然、快適な住環境と多様な産業が共存するまちづくり～

東部地域全体が持続的に発展し続けるまちとしていくため、自然、住環境、産業が共存し、地域住民、事業者、教育機関、行政、その他関係者が連携・協力し、東部地域が一体となり、夢と希望を持って、新たなまちづくりへチャレンジしていくまちづくりを進めます。



ヴィジョンと計画の推進

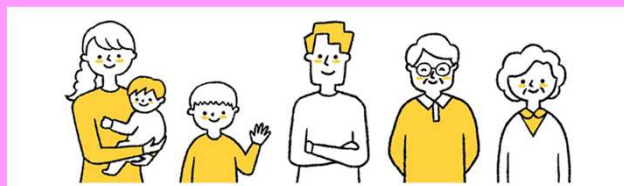


東部地域の将来像(基本理念)に掲げる理想のまちの実現に向け、居住者、就業者、来訪者や転入者などまちづくりの中心となる「人」に焦点をあてた次の3つのヴィジョンを定め、「計画の推進」によりまちづくりを進めていきます。

ヴィジョン1

多様な人が暮らし続けられるまち《対象:居住者》

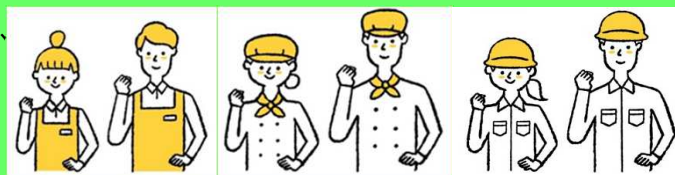
様々な人たちが世代・国籍を越えてつながり、充実した都市インフラの有効活用も図りながら、地域住民、事業者、行政等が連携・協力していつまでも暮らし続けられる環境を整備していくことを目指すものです。



ヴィジョン2

多様な職業が共存し、持続できるまち《対象:就業者》

人のつながりにより多様な職業が共存し、持続できる環境の整備を進めることで、他にはない魅力を備えるまちとしていくことを目指すものです。



ヴィジョン3

訪れたくなる、住みたくなる魅力のあるまち《対象:来訪者・転入者》

新たな住民を受け入れる雰囲気醸成し、まちを楽しむイベントの創出など、住みたくなる環境をつくり、「モノ」「ヒト」「コト」の魅力を向上することで、この東部地域を今より魅力あるまちに創造していくことを目指すものです。



計画の推進

まちを育む体制の構築

まちを育む体制を構築するため、2つの方向に沿って体制づくりを進めます。

方向1 《産学官民》人と人がつながる仕組みの構築

方向2 《地域経営》地域活動の自立性や持続性を担保する地域経営の取り組み



構想の体系



●まちづくり5原則〈Ⅲ章〉

一体性	東部地域一体でのまちづくり
自立性	地域住民による自立したまちづくり
多様性・活用性	多様な地域資源を連携・活用したまちづくり

将来像〈Ⅲ章〉	ヴィジョン〈Ⅳ章〉	取組方針〈Ⅴ章〉
“ 人がつながり、支え合い、チャレンジし続けるまち” ～豊かな自然、快適な住環境と多様な産業が共存するまちづくり～	1. 多様な人が暮らし続けられるまち 《対象：居住者》	高齢者 ①高齢者が安心して暮らせる環境の整備
		子育て世代 ②子育て世代にとって魅力ある環境の整備
		次世代 ③若者が東部地域に愛着を持てる環境の整備
		交流 ④世代・国籍を越えた住民交流の促進
	2. 多様な職業が共存し、持続できるまち 《対象：就業者》	都市インフラ ⑤都市インフラの有効活用
		農業・商工業 ①地域の生業が持続・活性化する環境の整備
		新規ビジネス ②新しいビジネスの創出
	3. 訪れたい、住みたい魅力のあるまち 《対象：来訪者・転入者》	地域資源 ①地域資源の保全、魅力向上及び発信の強化
		住まい ②若年世代も住みたい、住まいの創出
		住民活動 ③ウェルカムなまちの雰囲気創出

計画の推進〈Ⅵ章〉	まちを育む体制の構築	産学官民 方向① 人と人がつながる仕組みの構築
		地域経営 方向② 地域活動の自立性や持続性を担保する地域経営の取り組み

柔軟性・可変性

柔軟性・可変性を持ったまちづくり

将来性

チャレンジをサポートするまちづくり

取組の方向(内容)〈Ⅴ章〉

1. 支え合い等による日常生活の利便性の向上
2. 高齢者のいきがい・居場所づくり

1. 地域一体での子育ての仕組みの構築
2. 多様な働き方ができる環境の整備

1. 地域の知り合いづくりの機会の創出
2. 地域を学ぶ(知る)・参加・提案する機会の創出

1. 世代を越えた住民の交流機会の創出
2. 外国人・日本人住民の交流機会の創出

1. 公共空間の活用の促進
2. 先進技術を活用した地域内移動の確保

1. 農家を支え、発展させる仕組みの構築
2. 商工業を支える仕組みの構築
3. 農・商・工・福の連携の促進

1. ソーシャルビジネスの活動促進
2. チャレンジしたい起業家などの活動促進

1. 地域資源を活用した新たな魅力の創出
2. 公園・緑道等を活用した魅力の発信
3. 時代にあった地域魅力の発信

1. 既存住宅を活用した新たな住宅供給
2. 安全・安心な住環境の整備

1. 新たな住民の受け入れ体制・雰囲気づくり
2. 新たな住民を呼び込む活動の創出

1. プラットフォームの構築
2. 中間支援組織の活用・育成

1. 好循環の地域経済の仕組みの構築
2. スタートアップ支援

取組方針と取組の方向（内容）



ビジョン1 多様な人が暮らし続けられるまち《対象：居住者》

取組方針

高齢者

① 高齢者が安心して暮らせる環境の整備



取組の方向

1. 支え合い等による日常生活の利便性の向上
2. 高齢者のいきがい・居場所づくり

参考指標

キーワード	参考指標	基準値 (基準年度)	目指す方向 (R13年度)
高齢者	生きがいを持って暮らしている65歳以上の住民の割合	80.9% (R3)	↗



高齢者
のいきがい
な

取組方針

子育て世代

② 子育て世代にとって魅力ある環境の整備



取組の方向

1. 地域一体での子育ての仕組みの構築
2. 多様な働き方ができる環境の整備

参考指標

キーワード	参考指標	基準値 (基準年度)	目指す方向 (R13年度)
子育て世代	安心して子育てができると思う20歳代から40歳代の割合	71.9% (R3)	↗

いろいろな
ライフスタイルが
考えられるね



取組方針

次世代

③ 若者が東部地域に愛着を持てる環境の整備



取組の方向

1. 地域の知り合いづくりの機会の創出
2. 地域を学ぶ(知る)・参加・提案する機会の創出

参考指標

キーワード	参考指標	基準値 (基準年度)	目指す方向 (R13年度)
次世代	次世代が参加するプロジェクト数 (まちづくりのプロジェクト数)	—	↗



東部地域は、
ポテンシャルが
高い地域です

取組方針

交流

④ 世代・国籍を越えた住民交流の促進



取組の方向

1. 世代を越えた住民の交流機会の創出
2. 外国人・日本人住民の交流機会の創出

参考指標

キーワード	参考指標	基準値 (基準年度)	目指す方向 (R13年度)
交流	プラットフォームによる交流イベント回数	—	↗

いっしょに暮らし
まわりの人
とつながり
楽しむ



取組方針

都市インフラ

⑤ 都市インフラの有効活用



取組の方向

1. 公共空間の活用の促進
2. 先進技術を活用した地域内移動の確保

参考指標

キーワード	参考指標	基準値 (基準年度)	目指す方向 (R13年度)
都市 インフラ	週1回以上公共交通機関を利用している地域住民の割合	12.3% (R3)	↗

東部地域には、
公園もたくさんあるし、
巡回バスもまわって
たくさん歩いて
都市インフラが
充実してるね



ヴィジョン2 多様な職業が共存し、持続できるまち《対象：就業者》

取組方針

農業・商工業

① 地域の生業が持続・活性化する環境の整備



取組の方向

1. 農家を支え、発展させる仕組みの構築
2. 商工業を支える仕組みの構築
3. 農・商・工・福の連携の促進

参考指標

キーワード	参考指標	基準値 (基準年度)	目指す方向 (R13年度)
農業・ 商工業	農業サポーター制度登録者数	24人 (R2)	↗



農業って
思ってたより
やりがいあるなあ

取組方針

新規ビジネス

② 新しいビジネスの創出



取組の方向

1. ソーシャルビジネスの活動促進
2. チャレンジしたい起業家などの活動促進

参考指標

キーワード	参考指標	基準値 (基準年度)	目指す方向 (R13年度)
新規 ビジネス	東部地域における起業・創業に対する補助件数	6件 (R2)	



この東部地域で、
夢へのチャレンジを
みませんか。

ヴィジョン3 訪れたくなる、住みたくなる魅力のあるまち《対象：来訪者・転入者》

取組方針

地域資源

① 地域資源の保全、魅力向上及び発信の強化



取組の方向

1. 地域資源を活用した新たな魅力の創出
2. 公園・緑道等を活用した魅力の発信
3. 時代にあった地域魅力の発信

参考指標

キーワード	参考指標	基準値 (基準年度)	目指す方向 (R13年度)
地域資源	市ホームページ(東部まちづくり ニュースのページ)の年間アクセス数	—	



小牧市の
東部地域って
住みやすいの？

取組方針

住まい

② 若年世代も住みたくなる住まいの創出



取組の方向

1. 既存住宅を活用した新たな住宅供給
2. 安全・安心な住環境の整備

参考指標

キーワード	参考指標	基準値 (基準年度)	目指す方向 (R13年度)
住まい	戸建て住宅の空き家数	166棟 (R2)	

あなた
この空き家を
購入しませんか？



取組方針

住民活動

③ ウェルカムなまちの雰囲気の創出



取組の方向

1. 新たな住民の受け入れ体制・雰囲気づくり
2. 新たな住民を呼び込む活動の創出

参考指標

キーワード	参考指標	基準値 (基準年度)	目指す方向 (R13年度)
住民活動	区や市民活動団体などが開催する活動に過去1年間で1回以上参加したことがある地域住民の割合	29.4% (R3)	↗



最近
若い人が
増えてきた
な

計画の推進 まちを育む体制の構築

方向1

産学官民

人と人がつながる 仕組みの構築

1. プラットフォームの構築

1. まちづくりへの住民の意識醸成
2. つながる場の構築

2. 中間支援組織の活用・育成

住民主体のまちづくりを効果的・継続的に進めるため、中間支援組織の活用の検討



方向2

地域経営

地域活動の自立性や持続性を担保する地域経営の取り組み

1. 好循環の地域経済の仕組みの構築

〈地域での経済循環〉

- ・支え合いいきいきポイントや地域通貨など

〈地域内外からの資金調達〉

- ・活動の報酬やクラウドファンディングなど

2. スタートアップ支援

- ・財政支援
- ・公共空間の活用に対する制限緩和の検討
- ・土地利用の見直しの検討
- ・Park-PFIの活用の検討

など

小牧市民憲章

わたくしたち 小牧市民は、小牧を

1. 健康で生きがいのある 明るいまちにしましょう。
1. 感謝と思いやりのある あたたかいまちにしましょう。
1. 緑とやすらぎのある 美しいまちにしましょう。
1. 高い文化と教養のある 豊かなまちにしましょう。
1. 希望と働く喜びのある 活気あふれるまちにしましょう。

こども夢・チャレンジNo.1都市宣言(抜粋)

私たち小牧市民は、

- 一. こどもの夢への挑戦を応援することで元気になるまち
- 一. 世代を越えて市民のつながりが生まれるまち
- 一. 支え合うことでさらに住みよくなっていくまち

このようなまちの実現に向け、小牧市を「こども夢・チャレンジNo.1都市」とすることを、ここに宣言します。

東部振興構想【概要版】

令和4年3月発行

発行者 小牧市

編集 小牧市東部まちづくり推進室

電話：0568-72-2101（代）

FAX：0568-71-1481



キミと一緒に、育っていききたい。
Komaki